



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月27日

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 憲和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志水 直樹

TEL 03-5206-3316

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	13,944	1.3	472	115.2	526	80.1	228	22.4
22年3月期第2四半期	13,759	△3.2	219	△48.4	292	△36.5	187	△7.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	23.66	—
22年3月期第2四半期	19.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,589	7,172	57.0	741.12
22年3月期	12,729	7,165	56.3	740.40

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,172百万円 22年3月期 7,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	1.2	1,100	30.7	1,100	18.3	450	19.5	46.49

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	10,640,200株	22年3月期	10,640,200株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	961,775株	22年3月期	961,775株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	9,678,425株	22年3月期2Q	9,679,230株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①平成23年3月期 第2四半期の概況

(百万円)

(円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益	1株当たり 四半期(当期) 純利益
平成23年3月期第2四半期	13,944	472	526	228	23.66
平成22年3月期第2四半期	13,759	219	292	187	19.33
増減率	1.3%	115.2%	80.1%	22.4%	22.4%
(参考)平成22年3月期	28,174	841	929	376	38.89

当第2四半期連結累計期間の売上高は13,944百万円(前年同期比+1.3%)、営業利益は472百万円(前年同期比+115.2%)となりました。これは、イービジネスサービス事業が安定的な売上の確保により堅調に推移したことと、ソリューション事業が収益改善による黒字化を果たしたことによるものです。

経常利益は、持分法適用関連会社の減少に伴う、持分法による投資利益の減少はありましたが、526百万円(前年同期比+80.1%)となりました。

特別利益では投資有価証券売却益を計上、特別損失では投資有価証券評価損、固定資産除却損、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したものの、四半期純利益は228百万円(前年同期比+22.4%)となりました。

②事業別の状況

(百万円)

	平成22年3月期第2四半期		平成23年3月期第2四半期		(参考)平成22年3月期	
	売上高	営業利益 または 営業損失	売上高	営業利益 (セグメント利益)	売上高	営業利益 または 営業損失
イービジネスサービス事業	8,612	450	8,276	401	17,208	968
ソリューション事業	5,147	△230	5,667	71	10,965	△126
連結計	13,759	219	13,944	472	28,174	841

[イービジネスサービス事業]

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,276百万円(前年同期比△3.9%)、セグメント利益は401百万円(前年同期比△10.7%)となりました。当期よりコンタクトセンターサービスをソリューション事業に移管したため、当第2四半期連結累計期間において、売上高は220百万円、セグメント利益は45百万円の減少効果がありました。

しかし、ウイルス対策ソフト販売において、オートリニューアル(ライセンス自動更新)システムへの誘導により売上高を安定的に確保し、堅調に推移しました。

[ソリューション事業]

当第2四半期連結累計期間の売上高は5,667百万円(前年同期比+10.1%)、セグメント利益は71百万円(前年同期は230百万円の営業損失)となりました。売上高は、ソフトバンクグループ向けの受注が好調に推移したため増加しました。セグメント利益においては、前期に発生した大型不採算案件による損失がなくなった上、コスト削減効果と売上増による稼働率の向上により、増益となりました。

(注) 当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

これによる事業区分へ与える影響は軽微なため、前年同期比較を参考として記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の概況

(百万円)

	平成22年3月期	平成23年3月期第2四半期	(参考) 平成22年3月期第2四半期
総資産	12,729	12,589	12,095
純資産	7,165	7,172	6,983
自己資本比率	56.3%	57.0%	57.7%

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より139百万円減少して12,589百万円となりました。

流動資産は、主に受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末より53百万円減少しました。

固定資産は、主に投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末より85百万円減少しました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より146百万円減少して5,416百万円となりました。

流動負債は、主に買掛金や未払金の減少などにより、前連結会計年度末より280百万円減少しました。

固定負債は、主に長期前受金の増加などにより、前連結会計年度末より133百万円増加しました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末より6百万円増加して7,172百万円となりました。

②キャッシュ・フローの概況

(百万円)

	平成22年3月期第2四半期	平成23年3月期第2四半期	(参考)平成22年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	419	518	801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280	△342	△407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△164	△7
現金及び現金同等物の増減額	△17	11	386
現金及び現金同等物期末残高	3,177	3,592	3,581

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は518百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益370百万円、売上債権の減少373百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は342百万円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出299百万円、投資有価証券の取得による支出295百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は164百万円となりました。これは主に、配当金の支払154百万円によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より11百万円増加して3,592百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間においては、期初の予想を上回る実績となりましたが、急激に進んだ円高の影響で国内景気は不透明感が増しております。

このような中、現時点においては、平成22年4月27日に公表いたしました通期の業績予想を据え置きます。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結会計期間において、該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益および経常利益はそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は50百万円減少しております。

②「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、『「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正』(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,592,416	3,581,176
受取手形及び売掛金	3,383,082	3,756,673
有価証券	399,147	200,000
商品	81,721	105,370
仕掛品	328,451	283,843
繰延税金資産	203,864	192,337
その他	537,248	460,921
貸倒引当金	△1,335	△1,795
流動資産合計	8,524,595	8,578,528
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	95,706	69,097
工具、器具及び備品(純額)	360,720	355,608
建設仮勘定	36,399	43,985
有形固定資産合計	492,826	468,691
無形固定資産		
ソフトウェア	400,180	441,521
ソフトウェア仮勘定	78,326	70,402
その他	12,240	12,171
無形固定資産合計	490,747	524,095
投資その他の資産		
投資有価証券	1,869,683	2,138,309
長期貸付金	10,450	11,350
繰延税金資産	593,510	497,193
その他	632,775	542,272
貸倒引当金	△25,404	△31,387
投資その他の資産合計	3,081,014	3,157,737
固定資産合計	4,064,589	4,150,524
資産合計	12,589,184	12,729,052

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,350,053	3,484,574
リース債務	30,883	29,522
未払金	311,385	438,377
未払法人税等	210,955	335,498
賞与引当金	275,255	254,789
役員賞与引当金	4,560	—
受注損失引当金	20,165	92,925
資産除去債務	2,262	—
その他	704,480	554,525
流動負債合計	4,910,001	5,190,211
固定負債		
リース債務	108,928	120,402
繰延税金負債	—	1,887
長期前受金	334,736	235,458
負ののれん	13,442	15,235
資産除去債務	49,233	—
固定負債合計	506,341	372,983
負債合計	5,416,343	5,563,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	6,593,219	6,519,075
自己株式	△747,553	△747,553
株主資本合計	7,192,426	7,118,282
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,740	58,625
為替換算調整勘定	△44,325	△11,049
評価・換算差額等合計	△19,585	47,575
純資産合計	7,172,841	7,165,858
負債純資産合計	12,589,184	12,729,052

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	13,759,459	13,944,191
売上原価	12,657,746	12,638,824
売上総利益	1,101,712	1,305,367
販売費及び一般管理費	881,966	832,369
営業利益	219,745	472,997
営業外収益		
受取利息	12,461	16,374
受取配当金	5,850	3,290
持分法による投資利益	45,042	29,250
雑収入	9,533	8,136
営業外収益合計	72,887	57,051
営業外費用		
支払利息	—	3,113
自己株式取得費用	16	—
雑損失	97	34
営業外費用合計	113	3,148
経常利益	292,519	526,900
特別利益		
投資有価証券売却益	80,538	159,367
事業譲渡益	19,695	—
貸倒引当金戻入額	1,834	1,353
その他	—	1,000
特別利益合計	102,068	161,720
特別損失		
固定資産除却損	855	59,839
投資有価証券売却損	10,046	18,322
投資有価証券評価損	52,743	150,975
固定資産臨時償却費	61,248	—
減損損失	—	20,614
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	47,274
その他	14,343	21,318
特別損失合計	139,237	318,345
税金等調整前四半期純利益	255,350	370,276
法人税、住民税及び事業税	66,623	230,574
法人税等調整額	△11,491	△89,297
法人税等合計	55,131	141,277
少数株主損益調整前四半期純利益	—	228,999
少数株主利益	13,085	—
四半期純利益	187,133	228,999

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	255,350	370,276
減価償却費	185,564	144,878
減損損失	—	20,614
のれん償却額	4,524	△1,792
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△902	△459
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△690	20,466
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,500	4,560
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	94,161	△72,759
瑕疵補修引当金の増減額 (△は減少)	△22,141	—
有形固定資産除却損	855	983
無形固定資産除却損	—	58,856
受取利息及び受取配当金	△18,311	△19,664
支払利息	—	3,113
持分法による投資損益 (△は益)	△45,042	△29,250
投資事業組合運用損益 (△は益)	△712	△1,600
投資有価証券売却損益 (△は益)	△70,492	△141,044
投資有価証券評価損益 (△は益)	52,743	150,975
事業譲渡損益 (△は益)	△19,695	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	47,274
売上債権の増減額 (△は増加)	519,311	373,591
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△213,829	△23,232
営業債権の増減額 (△は増加)	△19,736	△219,610
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,322	△134,520
未払消費税等の増減額 (△は減少)	43,996	△12,312
営業債務の増減額 (△は減少)	△38,964	186,415
その他	△1,779	16,281
小計	700,029	742,039
利息及び配当金の受取額	17,751	133,951
利息の支払額	—	△3,113
法人税等の支払額	△297,795	△353,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	419,985	518,960

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△151,834	△167,121
無形固定資産の取得による支出	△124,215	△99,859
有価証券の取得による支出	△100,000	△299,125
有価証券の償還による収入	—	100,000
投資有価証券の取得による支出	△116,650	△295,534
投資有価証券の売却による収入	259,716	406,719
事業譲渡による収入	20,500	—
子会社株式の取得による支出	△74,760	—
貸付金の回収による収入	899	900
差入保証金の差入による支出	△150	△360
差入保証金の回収による収入	5,986	25,266
資産除去債務の履行に係る支出額	—	△13,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280,506	△342,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	600,000
短期借入金の返済による支出	—	△600,000
自己株式の取得による支出	△1,586	—
配当金の支払額	△155,224	△154,767
新規取得設備のリース化による収入	—	4,519
リース債務の返済による支出	—	△14,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,810	△164,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,331	11,239
現金及び現金同等物の期首残高	3,194,645	3,581,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,177,314	3,592,416

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：千円）

	イービジネス サービス事業	ソリューション 事業	計	消去または全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,612,372	5,147,086	13,759,459	—	13,759,459
(2) セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	8,612,372	5,147,086	13,759,459	—	13,759,459
営業利益または営業損失(△)	450,118	△230,373	219,745	—	219,745

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

在外子会社および重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「イービジネスサービス事業」、「ソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「イービジネスサービス事業」は、ECサイトを利用したソフトウェア、PC関連商品の販売、ECサイトのフロントショップからバックオフィスまでの業務運営サービス業務、決済・回収代行サービス業務を行っております。「ソリューション事業」は、業務システム、セキュリティシステム、ネットワークインフラシステム等のコンサルティング、設計・構築から運用・監視・保守サービス、モバイルアプリケーションシステムの開発・構築・運用サービス、およびこれら種々のサービスに対するコンタクトセンターサービスの提供を行っております。

なお、コンタクトセンターサービスにつきましては、前期の事業の種類別セグメント情報ではイービジネスサービス事業に含まれておりましたが、当期よりソリューション事業に含んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	イービジネスサービス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,276,611	5,667,579	13,944,191
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—
計	8,276,611	5,667,579	13,944,191
セグメント利益	401,880	71,116	472,997

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「ソリューション事業」セグメントにおいて遊休状態となった事業用の固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては20,614千円であります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。